

学習指導要領		都立町田工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p>	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本として、ホッブズ、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の違いについて知る。 ・日本国憲法が三大原理をもとに構成されていることについて理解し、大日本帝国憲法下では君主主権であったものが、日本国憲法下では国民主権となり、現在、天皇は日本国及び日本国民統合の象徴であることなどについて知る。 ・国会、内閣、裁判所の諸機能を知る。例えば国会の二院制の仕組みや最高機関としての役割などを知る。 ・法について、国家による強制を伴う点で、道徳や慣習と異なることや、議会によって定められており、国民には遵守する義務があることを知る。 ・基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立したことを踏まえ、日本国憲法が定める基本的陣についてその内容などについて知る。 ・現代社会における権利衝突には司法による解決法があることを知る。例えば、国民が司法に参加するしくみとして裁判員制度があることを知る。 ・我が国における議会制民主主義が、日本国憲法に明記された国民主権と国会を国権の最高機関と位置付ける政治制度を土台にして運営されていることを知る。 ・我が国の地方自治制度の特徴として、直接民主制の考え方が多く取り入れられており、首長と議会がそれぞれ別々に独立して住民から選ばれていることなどについて知る。 ・民主政治の本質は、主権者である国民の同意に権力の正統性を求める政治であることを知る。一方、国民の価値観が多様化するなかで政府による利害調整の働きへの期待が大きいことを知る。 ・戦後の日本における政党政治と選挙制度などについてその概要を知る。 ・冷戦終結後の国際社会の動向を踏まえ、国際社会の平和と安定のために、様々な国際機関の取り組みが進められていることを知る。

学習指導要領		都立町田工業高校 学カスタンダード
<p>現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p> <p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>(2) 現代の経済</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法に関する基本的な仕組みや、統一的な立法機関が存在しないこと、当事国の同意がなければ強制力を十分に持たないことなどについて知る。 ・人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを知る。 ・国際連合の主要な機関と名称について知る。例えば、安全保障理事会は国際平和と安全を維持すること目的とした機関で、5か国の常任理事国には拒否権があることなどを知る。 ・日米安全保障体制や、自国の防衛と国際社会の平和と安全にむけて自衛隊が果たしている役割などについて知る。 ・現代の国際紛争は、民族対立やテロ行為を端緒とするものなど多様化しており、未然防止には国際的な対応が不可欠であることを知る。 ・グローバル化が進展する国際社会において、我が国に求められる国際平和の実現に向けた人的、経済的な役割を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・生産された財やサービスを効率的に分配する仕組みとして、現代における市場経済が発達してきたことを知る。 ・現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計、企業、政府のそれぞれの機能と役割を知る ・市場経済の仕組みについて、完全な自由競争市場では、価格の自動調整機能によって均衡価格が成立し資源の効率的な配分が行われることを知る。また、市場の失敗について例えば公害などがあることを知る。 ・物価変動によるインフレーションやデフレーションの発生が国民生活に与える影響について、インフレーションは景気の過熱などと結びついていることや、デフレーションは景気後退・不況などと結びついていることを知る。 	

学習指導要領	都立町田工業高校 学カスタンダード
<p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p> <p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>(3) 現代社会の諸課題</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政府による経済活動のことを財政と呼び、税金等を財源として様々な公共支出が行われていることや、租税の意義と役割について知る。 ・直接金融と間接金融の違いや、日本銀行の役割、公開市場操作などについて知る。 ・現代経済の特徴について、我が国の多くが混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていることを知る。 ・経済活動と国民福祉との関連について、経済発展優先と福祉向上に求められる公平性を重視した考え方の両立は難しいことを知る。 ・貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みを知る。例えば、1ドル120円が100円に変化することが円高であり、円高になると輸入が増加するなどの仕組みを知る。 ・WTOやIMFが戦後の世界経済に果たしてきた役割について知る ・例えばEU（欧州連合）の前身であるEC（ヨーロッパ共同体）の成立と拡大、ユーロの導入などの経緯などについて知る。 ・南北問題・南南問題などの経済格差問題について理解する ・我が国が少子高齢社会を迎えて、医療や年金など社会保障費の財政負担の増大が大きな問題となっていることを知る。 ・我が国の地域社会の変化について、都市と農村とを比較しながら、過疎と過密が同時に進行してきたこととその背景を知る。 ・雇用と労働を巡る問題について、就業形態が多様化し労働市場が大きく変化していることを知る。 ・我が国における産業構造の変化について、技術革新や情報化が進展するなど、中小企業と大企業との間に様々な格差が存在していることなどを知る。

学習指導要領	都立町田工業高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題</p> <p>地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と食料問題について、日本の食料自給率が他の先進国と比べて極めて低いことや、農業従事者の高齢化問題など、日本の農業をめぐる諸課題について知る。 ・地球環境と資源・エネルギー問題について、温室効果ガスの蓄積による地球規模の気候変動やオゾン層の破壊、熱帯林の減少など、様々な問題が生じていることを知る。 ・国際経済格差の是正と国際協力について、先進国と発展途上国との経済格差が拡大する南北問題と、発展途上国間において経済的格差が広がる南南問題があり、これらの問題解決のために国際的な取組が行われていることを知る。 ・人種・民族問題等について、それぞれの人種・民族はそれぞれの固有の文化や宗教などをもっており、その違いや経済的な格差が、時として相互の反感や差別と結び付き、人種・民族問題を発生させていることについて知る。 ・国際社会における日本の立場と役割について、これまで我が国が実施してきた政府開発援助（ODA）や国連平和維持活動（PKO）の実績などを踏まえて、今後も国際社会に貢献していくことが重要であることを知る。